平成25年12月24日

各 位

上場会社名　岡野バルブ製造株式会社
代表者　代表取締役社長 岡野　正紀
（コード番号　6492）
問合せ先責任者　取締役総務部長 岡野　武治
（TEL　093-372-9214）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年6月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,202	40	180	75	4.24
今回修正予想(B)	7,404	130	305	185	10.47
増減額(B-A)	△798	90	125	110	
増減率(%)	△9.7	225.0	69.4	146.7	
(ご参考)前期実績 (平成24年11月期)	8,347	338	458	197	11.14

平成25年11月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,200	20	160	60	3.40
今回修正予想(B)	7,400	115	285	170	9.62
増減額(B-A)	△800	95	125	110	
増減率(%)	△9.8	475.0	78.1	183.3	
(ご参考)前期実績 (平成24年11月期)	8,343	269	402	169	9.57

修正の理由

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループにおきましては、国内の原子力発電所再稼働問題が長期化し先行きが不透明なことから、依然として厳しい事業環境が続いております。また、国内電力政策が流動的なためバルブ事業、メンテナンス事業ともに受注案件の売上計上時期が一部不明瞭な側面をはらんでおり、正確な業績予想数値の算出が困難な状況にあります。

このような状況の中、当連結会計年度において売上予定であった主要案件のうち、川崎重工業向け弁の一部や浜岡原子力発電所のSRV（主蒸気逃がし安全弁）定期検査工事等が繰延べとなりました。また、福島地区における除染工事や放射線管理などの復興関連工事が伸び悩んだこともありまして、予定していた売上高を大幅に下回ることが予想されます。

一方、バルブ事業で短納期かつ採算性の高い震災対策弁が生産と売上を牽引したことやメンテナンス事業において期末に柏崎刈羽原子力発電所、川内原子力発電所を中心とした原子力関連工事の売上が集中したことで原価率が好転したほか、震災以降全社的に取り組んできた様々なコスト削減策が功を奏したこともあり、利益面は当初の予想を上回るものと見込まれます。

このようなことから、減収ながら利益面においては平成25年6月25日に公表した業績予想数値を上回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を修正するものであります。

なお、業績予想の修正による期末配当予想の修正はございません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上